

# 第3四半期報告書

本書は、EDINET (Electronic Disclosure for Investors' NETwork) システムを利用して金融庁に提出した第3四半期報告書の記載事項を、紙媒体として作成したものであります。

オーウイル株式会社

(E21832)

# 目 次

【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
3 【関係会社の状況】	3
4 【従業員の状況】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【生産、受注及び販売の状況】	4
2 【経営上の重要な契約等】	6
3 【財政状態及び経営成績の分析】	6
第3 【設備の状況】	8
第4 【提出会社の状況】	9
1 【株式等の状況】	9
(1) 【株式の総数等】	9
【株式の総数】	9
【発行済株式】	9
(2) 【新株予約権等の状況】	9
(3) 【ライツプランの内容】	10
(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】	10
(5) 【大株主の状況】	10
(6) 【議決権の状況】	11
【発行済株式】	11
【自己株式等】	11
2 【株価の推移】	11
【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】	11
3 【役員の状況】	11
第5 【経理の状況】	12
1 【四半期財務諸表】	13
(1) 【四半期貸借対照表】	13
(2) 【四半期損益計算書】	14
【第3四半期累計期間】	14
【第3四半期会計期間】	15
(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】	16
【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】	17

【注記事項】	18
2 【その他】	22
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	23
レビュー報告書	巻末

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年2月12日
【四半期会計期間】	第23期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	オーウイル株式会社
【英訳名】	O' will Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小口 英器
【本店の所在の場所】	東京都千代田区平河町二丁目13番12号
【電話番号】	(03)3222-4040(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 栗野 恵介
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区平河町二丁目13番12号
【電話番号】	(03)3222-4040(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 栗野 恵介
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第3四半期 累計期間	第23期 第3四半期 会計期間	第22期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	17,711,532	5,189,475	21,888,388
経常利益(千円)	277,121	15,027	401,940
四半期(当期)純利益又は四半期 (当期)純損失(千円)	30,523	112,846	217,122
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	-	363,387	332,000
発行済株式総数(株)	-	3,150,000	10,000
純資産額(千円)	-	1,084,823	1,059,489
総資産額(千円)	-	6,359,422	5,945,785
1株当たり純資産額(円)	-	344.38	105,948.90
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期(当 期)純損失金額(円)	10.07	36.69	21,712.22
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	7,000.00
自己資本比率(%)	-	17.1	17.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	854,457	-	689,652
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	4,256	-	149,691
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	274,360	-	7,867
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	933,677	357,238
従業員数(人)	-	59	54

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社がないため、記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

5. 当社は、平成20年7月24日付で当社普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。

## 2【事業の内容】

当第3四半期会計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 3【関係会社の状況】

該当事項はありません。

## 4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数(人)	59	(69)
---------	----	------

(注) 1. 従業員数は就業人員であり、社外から当社への出向者を含んでおります。

2. 臨時雇用者数(アルバイト、人材会社からの派遣社員を含む。)は、当第3四半期会計期間の平均人員を( )内に外数で含んでおります。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 仕入実績

当第3四半期会計期間の仕入実績は、次のとおりであります。

区分別	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	前年同期比(%)
食品副原料 (千円)	1,770,898	-
乳及び乳製品 (千円)	1,371,078	-
飲料製品 (千円)	962,595	-
農産物及び同加工品 (千円)	348,182	-
F C 事業 (千円)	180,826	-
その他 (千円)	387,433	-
合計(千円)	5,021,012	-

(注) 1. 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 当第3四半期会計期間の主要な輸入先、輸入仕入高及び割合は次の通りであります。

( ) 内は総仕入実績に対する輸入仕入高の割合であります。

輸入先	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
アジア	668,936	99.8
北米	1,105	0.2
合計	670,042 (13.3%)	100.0

#### (2) 販売実績

当第3四半期会計期間の販売実績は、次のとおりであります。

区分別	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	前年同期比(%)
食品副原料 (千円)	1,496,810	-
乳及び乳製品 (千円)	1,510,403	-
飲料製品 (千円)	1,050,367	-
農産物及び同加工品 (千円)	514,943	-
F C 事業 (千円)	258,168	-
その他 (千円)	358,782	-
合計(千円)	5,189,475	-

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 当第3四半期会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
株式会社伊藤園	609,048	11.7

3. FC事業の金額は、全て小売の売上金額であります。

## 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

### (1) 業績の状況

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、米国発のサブプライムローン問題に端を発した金融危機による世界経済の減速の影響を蒙り、国内株式市場の大幅な下落、急激な円高ドル安により、個人消費が落ち込み、企業収益が悪化するなど、景気後退の局面を迎えております。

清涼飲料業界におきましては、原油価格等の下落による原材料の価格の低下など、一定の効果が期待されるものの、上述の経済の悪化を受け、雇用情勢の急速な悪化、消費者の購買意欲の低下など、厳しい経営環境になっております。

このような経済状況のもと、当社は飲料業界のみならず、食品業界等他業界向けにも主力商品であるビタミンCや乳製品などの拡販に努めるとともに、新規商品の提案を積極的に行ってまいりました。

その結果、当第3四半期会計期間の売上高は5,189,475千円となり、物流費コスト等の販売管理費が増加しましたが、営業利益は5,366千円となりました。経常利益は円高による為替差益を31,280千円を計上し、15,027千円となりましたが、当期純利益は金融危機に伴う株価下落により投資有価証券評価損を118,785千円計上したため、112,846千円の純損失となりました。

カテゴリー別の業績は以下のとおりであります。

#### 食品副原料

当カテゴリーにおきましては、主力商品であるビタミン類等の副原料の拡販に努め、売上高は1,496,810千円、売上総利益は、109,625千円となりました。

#### 乳及び乳製品

当カテゴリーにおきましては、ソフトコンテナを活用した業務用殺菌乳、バターや脱脂粉乳の拡販に努め、売上高は1,510,403千円、売上総利益は109,229千円となりました。

#### 飲料製品

当カテゴリーにおきましては、飲料市場全体の消費の冷え込みもありましたが、価格の割安なPB商品へのニーズは高まり、売上高は1,050,367千円、売上総利益は14,688千円となりました。

#### 農産物及び同加工品

当カテゴリーにおきましては、主力商品であるマンゴー加工品、茶葉類の拡販に努め、売上高は514,943千円、売上総利益は43,199千円となりました。

#### FC事業

当カテゴリーにおきましては、コンビニエンスストア業界全体の不振はあるものの、タスポ導入によるタバコの店頭販売の需要を取り込み、商品廃棄率の改善に努め、売上高は258,168千円、売上総利益は72,022千円となりました。

#### その他

その他におきましては、主力商品である窒素ガスが使用品目数の増加により拡販が進んだほか、飲料製造用資材の販売が堅調に推移し、売上高は358,782千円、売上総利益は33,296千円となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### 資産の状況

当第3四半期会計期間期末の流動資産は、前事業年度末に比べ10.3%増加し、5,740,427千円となりました。これは主に現預金及び売掛金の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間期末の固定資産は、前事業年度末に比べ16.3%減少し、618,994千円となりました。

この結果、当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ7.0%増加し、6,359,422千円となりました。

た。

#### 負債の状況

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ8.3%増加し、5,249,109千円になりました。これは主に買掛金の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べ36.7%減少し、25,489千円となりました。これはリース債務の返済によるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ7.9%増加し、5,274,598千円となりました。

#### 純資産の状況

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ2.4%増加し、1,084,823千円となりました。これは主に資本金、資本準備金の増加によるものであります。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、第2四半期会計期間末に比べ305,763千円増加し、933,677千円となりました。

##### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、277,382千円となりました。これは主に棚卸資産が405,828千円増加しましたが、仕入債務が876,182千円増加したことによるものであります。

##### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、344千円となりました。これは保険積立金の支払によるものであります。

##### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、28,733千円となりました。これは主に株式の発行による収入によるものであります。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期会計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (5) 研究開発活動

記載すべき事項はありません。

### 第3【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

当第3四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期会計期間において、前四半期会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

#### 第4【提出会社の状況】

##### 1【株式等の状況】

###### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,150,000	3,150,000	ジャスダック証券取引 所	権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式であ り、単元株式数は100 株であります。
計	3,150,000	3,150,000	-	-

###### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成20年11月6日 (注)	150,000	3,150,000	31,387	363,387	31,387	288,387

(注) 有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)

発行価格 450.00円

発行価額 418.50円

資本組入額 209.25円

払込金総額 62,775千円

(5) 【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,150,000	31,500	単元株式数100株
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	3,150,000	-	-
総株主の議決権	-	31,500	-

【自己株式等】

平成20年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	-	-	-	-	-	-	-	454	480
最低(円)	-	-	-	-	-	-	-	330	345

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

なお、平成20年11月7日をもって同取引所に株式を上場いたしましたので、それ以前の株価については該当事項はありません。

3 【役員状況】

有価証券届出書提出後、当四半期報告書の提出日までにおいて役員の変動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	933,677	357,238
受取手形及び売掛金	3,047,916	2,523,016
商品	1,221,548	888,165
未着商品	313,791	740,822
未収入金	148,064	644,300
その他	79,330	55,564
貸倒引当金	3,900	2,600
流動資産合計	5,740,427	5,206,508
固定資産		
有形固定資産	104,215	112,385
無形固定資産	53,638	68,481
投資その他の資産	461,140	558,410
固定資産合計	618,994	739,277
資産合計	6,359,422	5,945,785
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,523,432	2,778,065
短期借入金	-	200,000
未払金	544,067	1,552,261
未払法人税等	29,174	123,202
賞与引当金	19,999	25,553
その他	132,435	166,977
流動負債合計	5,249,109	4,846,059
固定負債		
リース債務	25,489	40,236
固定負債合計	25,489	40,236
負債合計	5,274,598	4,886,296
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	332,000
資本剰余金	288,387	257,000
利益剰余金	504,596	544,073
株主資本合計	1,156,371	1,133,073
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32,598	59,669
繰延ヘッジ損益	38,949	13,915
評価・換算差額等合計	71,548	73,584
純資産合計	1,084,823	1,059,489
負債純資産合計	6,359,422	5,945,785

(2)【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	17,711,532
売上原価	16,268,263
売上総利益	1,443,268
販売費及び一般管理費	1,162,912
営業利益	280,356
営業外収益	
受取利息	208
受取配当金	5,463
受取補償金	5,617
受取手数料	4,971
為替差益	9,442
その他	1,405
営業外収益合計	27,109
営業外費用	
支払利息	1,847
株式交付費	2,052
株式公開費用	20,370
支払補償費	5,833
その他	241
営業外費用合計	30,344
経常利益	277,121
特別損失	
投資有価証券評価損	125,322
その他	322
特別損失合計	125,644
税引前四半期純利益	151,476
法人税、住民税及び事業税	121,482
法人税等調整額	529
法人税等合計	120,953
四半期純利益	30,523

## 【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	5,189,475
売上原価	4,807,412
売上総利益	382,062
販売費及び一般管理費	376,696
営業利益	5,366
営業外収益	
受取配当金	980
受取補償金	94
受取手数料	1,657
為替差益	31,280
その他	675
営業外収益合計	34,688
営業外費用	
支払利息	272
株式交付費	1,197
株式公開費用	20,370
支払補償費	3,112
その他	73
営業外費用合計	25,026
経常利益	15,027
特別損失	
投資有価証券評価損	118,785
特別損失合計	118,785
税引前四半期純損失( )	103,758
法人税、住民税及び事業税	5,051
法人税等調整額	14,140
法人税等合計	9,088
四半期純損失( )	112,846

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	151,476
減価償却費	26,210
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,300
賞与引当金の増減額(は減少)	5,553
受取利息及び受取配当金	5,672
支払利息	1,847
為替差損益(は益)	598
投資有価証券評価損益(は益)	125,322
売上債権の増減額(は増加)	524,900
たな卸資産の増減額(は増加)	93,649
未収入金の増減額(は増加)	496,236
仕入債務の増減額(は減少)	1,559,856
未払金の増減額(は減少)	822,683
その他	32,544
小計	1,063,946
利息及び配当金の受取額	5,672
利息の支払額	1,518
法人税等の支払額	213,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	854,457
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	1,871
無形固定資産の取得による支出	1,350
その他	1,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000
リース債務の返済による支出	14,677
株式の発行による収入	60,722
配当金の支払額	70,000
その他	50,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	274,360
現金及び現金同等物に係る換算差額	598
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	576,439
現金及び現金同等物の期首残高	357,238
現金及び現金同等物の四半期末残高	933,677

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
会計処理基準に関する事項 の変更	<p>たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更</p> <p>第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、原価法から原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算出しております。</p> <p>これにより、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ23,523千円減少しております。</p>

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
有形固定資産の減価償却累計額は、73,330千円であります。	有形固定資産の減価償却累計額は、63,577千円であります。

(四半期損益計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
賃金給料及び諸手当	365,833千円
賞与引当金繰入額	58,603千円
貸倒引当金繰入額	1,300千円
支払手数料	138,684千円
運賃	227,863千円
販売諸掛	56,862千円
減価償却費	26,210千円

当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
賃金給料及び諸手当	119,467千円
賞与引当金繰入額	19,999千円
貸倒引当金繰入額	300千円
支払手数料	49,182千円
運賃	69,675千円
販売諸掛	17,003千円
減価償却費	8,825千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	933,677
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-
現金及び現金同等物	933,677

(株主資本等関係)

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 3,150,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月24日 定時株主総会	普通株式	70,000	7,000	平成20年3月31日	平成20年6月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当第3四半期累計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)

その他有価証券で時価のあるもの

	取得原価(千円)	四半期貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
株式	254,238	199,275	54,963
合計	254,238	199,275	54,963

(注) その他有価証券で時価のあるもののうち、減損処理を行った金額は125,322千円であり、取得原価には減損処理後の金額を記載しております。なお、減損処理は当第3四半期末日の時価が、取得原価に対して著しく下落し、回復の見込みが無いものを対象としております。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の当第3四半期会計期間末の契約額等は、前事業年度末と比較して著しい変動がありません。

(持分法損益等)

当第3四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

( 1 株当たり情報 )

1 . 1 株当たり純資産額

当第 3 四半期会計期間末 (平成20年12月31日)		前事業年度末 (平成20年 3 月31日)	
1 株当たり純資産額	344.38円	1 株当たり純資産額	105,948.90円

(注) 当社は平成20年 7 月24日付で株式 1 株につき300株の株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における前事業年度末の 1 株当たり純資産額は353.16円であります。

2 . 1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額等

当第 3 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)		当第 3 四半期会計期間 (自 平成20年10月 1 日 至 平成20年12月31日)	
1 株当たり四半期純利益金額	10.07円	1 株当たり四半期純損失金額	36.69円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1 . 1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 3 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期会計期間 (自 平成20年10月 1 日 至 平成20年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額		
四半期純利益又は四半期純損失 (千円)	30,523	112,846
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 (千円)	30,523	112,846
期中平均株式数 (株)	3,030,000	3,075,000

2 . 当社は平成20年 7 月24日付で株式 1 株につき300株の株式分割を行っております。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月9日

オーウイル株式会社

取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 長澤 正浩 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 野口 昌邦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーウイル株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第23期事業年度の第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、オーウイル株式会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。